

平成 28 年度 第 3 回 読谷村総合教育会議議事録

村 長 石嶺 傳實 印

教育委員会

委員長 比嘉 雄一 印

1 日 時 平成 29 年 2 月 21 日 (水) 16 時～16 時 30 分

2 場 所 読谷村役場 3 階 大会議室

3 出席者 村 長 石嶺傳實
教育委員会
委員長 比嘉雄一
委 員 松田平次 (教育長)
委 員 比嘉 宏
委 員 照屋玲子

4 事務局及び議題関係説明者等

総務課長 古堅 守
財政・管財係長 知花圭太
教育次長 喜瀬 栄
教育総務課長 浜川秀樹
教育総務係長 上里竜一

5 傍聴者 無し

6 協議・調整事項

- (1) 平成 29 年度教育関連予算について
- (2) 読谷村教育委員会教育長の任命について
- (3) 読谷村教育委員会教育委員の任命について

□議事録

●事務局（教育総務課長）

みなさん、こんにちは。定刻となりましたので、これより第3回読谷村総合教育会議を開催したいと思います。まず、資料の確認でございますが、お手元に、本日の式次第、座席表、ホッチキスで留めてございます「資料1」「資料2」「資料3」が配布されていると思いますが、ご確認いただけますでしょうか。よろしいでしょうか。

本日の、協議事項は3件ございますが、その前に村長からごあいさつをいただきたいと思っております。

●石嶺村長

ハイサイ、グスーヨー、チュウウガナピラ。週末もいい天気で、土日は村ではラグビーの国際大会が残波でありましたし、また教育委員会は鳳ホールで宝くじのコンサート、そして「おきなわマラソン」ということで、たくさんのお行事がありまして、芸術・スポーツ・文化の花盛りだったと思っています。私は、個人的には週末、ジャガイモを掘りまして、10kg ジャガイモを植えて70kg収穫がありました。

それでは、平成28年度第3回読谷村総合教育会議ということでこれから始めていきたいと思っておりますのでひとつよろしく申し上げます。

●事務局（教育総務課長）

ありがとうございました。それでは、比嘉教育委員長からもごあいさつをいただきたいと思っております。

●比嘉委員長

みなさんこんにちは。先ほどまで、読谷村の高いところまで登ってですね、足がちょっとガクガクしているんですけども、チムはドンドンしているんですが、落ち着いてですね29年度の予算と、あと委員の任命等について、委員会については重要な事項ですので、心落ち着けていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

●事務局（教育総務課長）

ありがとうございました。それでは、これから協議に移りますので、ここからの進行は石嶺村長をお願いいたします。よろしく申し上げます。

●石嶺村長

はい。それでは改めまして、本日、平成28年度第3回読谷村総合教育会議にお集まりいただきありがとうございます。本会議は村長が招集する会議となっておりますので私の方

で進行させていただきます。

それでは、本日の協議事項に移りたいと思います。本日の協議事項は、「平成 29 年度教育関連予算について」「教育委員会教育長の任命について」そして「教育委員会教育委員の任命について」の 3 件につきましてご意見をいただきたいと思います。まず始めに、協議事項 1 「平成 29 年度教育関連予算について」でございます。それではまず概要の方から申し上げたいと思います。平成 29 年度一般会計当初予算は 140 億 7,594 万 3 千円となっております。そのうち教育予算は 28 億 955 万 9 千円ということで、全体に占める構成比は 20%と、民生費の構成比 40%に次ぐ 2 番目の規模となっております。その主な内容は、歴史民俗資料館建設事業において、対前年度比 3 億 7,392 万 5 千円の増となっている一方、読谷第二給食調理場の新增改築建築工事や、小学校校舎等管理事業において、工事費等の減となる他、機構改革に伴う所管替えにより、教育委員会でこれまでやっていたソフト事業が別の部署に移ったということで、教育費全体で、対前年度比 0.9%、2,560 万 3 千円の減となっているところでございます。中長期的見通しとしては平成 32 年度から平成 41 年度の間、村立学校の更新が集中的に行なわれることが予定されており、学校建設事業の建設時期の平準化及びその財源の捻出が課題となっております。その対策として、先だつての 12 月定例会において、資金を積み立てるための基金条例を制定し、平成 28 年度より積み立てを行なう他、平成 29 年度よりその更新に向けた調査等を行なう予定としております。主な事業内容については、担当の方から再度説明させますのでよろしく申し上げます。それでは、事務局お願いします。

●事務局（財政・管財係長）

総務課 財政・管財係長の知花といいますよろしく申し上げます。お手元の資料 1 ですね、ちょうど中段の方から主な事業経費という形になっております。こちらは、対前年度費から大きく増減したもの、もしくは新たな事業を主にピックアップして記載している内容となっております。簡単に、ひとつひとつ概要を、説明させていただきたいと思います。「小学校校舎等維持補修事業(耐力度調査委託料)」、900 万円あまり計上しております。こちらは、先ほど村長から話がありました村立学校の更新に向けた動きで、村内、復帰後の 4 校ですね、古堅南小、渡慶次小学校、読谷小学校、あと、古堅小学校ですね。4 校が概ね同等の築年数が経っておりますので、こちらの建築順を決めるということと、耐力度を調査することによって新たにどの棟から改築した方がいいのかというのを調査していくという内容の事業となっております。続きまして「幼稚園園舎等維持補修事業」こちらは、古堅南幼稚園の防音工事業となっており、1,300 万円ほど計上しております。続きまして「小学校要保護及び準要保護児童生徒就学援助補助事業」こちらは、2,300 万円ほど計上しておりますが、制度の周知等が図られたということで今年度、12 月定例会においても補正増しております。平成 29 年度当初予算でも、対前年度比で増の予算計上となっております。「読谷第二給食調理場新增改築事業」こちらは、工事費になります。こちらは平成 28 年度からの継続事業と

いう形で、残り6割分の事業経費を計上しております。続きまして「給食調理場管理運営事業（給食提供調査委託料）」こちらは、私立幼稚園で預かり保育を実施しておりますが、私立幼稚園でサービスを受けている子ども達に給食が提供できるのかどうか、施設の希望等も含めて調査する内容となっております。この調査の内容をもって、対応可能であれば、新調理場ではなくて、第一調理場、既存の調理場の改修もしくは増築等をして、対応できたらというふうに考えている内容となっております。続きまして「支援員配置事業」こちらは、学習支援、特別支援、日本語・情報支援を包括して記載しております。事業費としては7,300万円あまりとなっております。こちらは、一括交付金という県の財源を活用しながら、おそらく他市町村よりはサービスとしてはよりいい形で、配置ができていような内容となっております。現場としては、もっと、もう少し、という話もありますが、一括交付金事業等、県との調整のなかで現状行なっている内容となっております。続きまして「中学校教育振興事務運営事業」こちらは、中学校県外大会派遣費補助金となっております。例年ですね、中体連以外の中学生の県外派遣にかかる予算については例年100万円前後くらいの予算計上をしておりました。ただ、村内の子ども達のスポーツが盛んということで、決算段階では、概ね700万円から800万円くらいになっております。大会派遣が決定次第、予備費もしくは予算補正等で対応しておりましたが、今回、子ども達の大会派遣がより活発になってきているということもありまして、対前年度から大きく予算を増した形で計上しております。続きまして「生涯学習事務運営事業（大木学習等供用施設改修設計委託料）」こちらは生涯学習課所管の施設で、大木地区学供（公民館）ですね。こちらは再編交付金を活用した形で、公民館の改修事業を行なう予定となっております、その実施設計（改修設計）を次年度、行なっていく内容となっております。続きまして「文化センター施設管理運営事業（空調機器改修工事）」こちらにつきましては、中ホールの空調が現在、なかなかうまく機能していないということで、次年度改修を入れていきたいと考えております。続きまして「後援団体育成事業（中頭郡体育協会負担金）」こちらは、県大会が島尻地区と中頭地区で県大会を順繰り順繰りやっているんですが、来年は先島でやる予定がありますので、大きく予算の増になっております。続きまして「図書館運営事業（機械器具費）」で2,100万円計上しております。こちらは、図書館システム、貸し出しであったり管理であったり、そういうシステムが老朽化しているということもありまして、より利便性の高いシステムに変えていこうということで2,100万円ほど計上しております。最後に「歴史民俗資料館建設事業（工事請負費）」こちら継続事業になります。今、座喜味城跡の方で、ご存知かと思いますが、工事が進捗しておりまして、来年末の工事完了を想定している内容となっております。事業費としては、5億6千万となっております。簡単ではございますが、以上となります。

●石嶺村長

はい。協議事項1の「平成29年度教育関連予算について」の説明は終わりました。協議事項1に関してご意見がございましたら挙手をお願いします。

●比嘉委員

感想、お礼になるかと思うんですけど、今説明があったような事なんですけど、預かり保育の給食をできるかどうか前向きに検討かなと思っているんですけどね、そこら辺、ありがたいなあとか。それから、中学校の県外大会派遣費ですね、一般的に700万円から800万円、やっぱり中学生等々相当がんばっていますんで、これをまた、増額して予算化しているということですね、非常にいいことだなあと思っています。質問ですが、この概要のところ、中長期的見通し云々のところなんですけど、平成32年度から村立学校の更新が集中的に云々があります。幼稚園の方も築何十年とそろそろかなあというところもあるのかと思っておりますが、この公立学校の中に幼稚園も含まれているのか、また、認定子ども園との関わりはどうかそういうところをちょっと教えていただけたらなあと思います。それと、村立学校建設基金条例ですが、積み立てを行なうということですけども、幼稚園も含めてのことなのか、そして、毎年どのくらい積み立てするのかを教えていただけたらありがたいなあと思います。

●石嶺村長

はい。それでは、事務局の方から説明をお願いします。

●事務局（教育総務課長）

はい。まず、幼稚園が学校に含まれるかということなんですけども、幼稚園も含めて考えていきたいと考えております。それから、認定子ども園のお話もございましたが、認定子ども園につきましても、今後、当然検討していかないといけないということで、内部でまず調査を行なって、その後また具体的な話に展開していけたらなあというふうに考えております。

●事務局（財政・管財係長）

はい。続きまして、積み立ての額についてなんですけど、平成28年度、今年度につきましては、3月、定例会において、1億6,900万円予算計上する予定になっております。そして毎年、概ね1億5千万円～2億円程度、積立てていきたいと考えております。ただ、こちらの方は、村立学校、4小学校、喜名小学校は比較的まだ新しいということがありますので、それ以外の4小学校を想定した、積立額からはじいた額になります。なので、今後、幼稚園がこの中に具体的に、いつ頃立て替えようという話になっていくのであれば、積み立て額の計画を変更した形で、積み増しする事になるかと思っております。以上になります。

●石嶺村長

はい。よろしいでしょうか。まあ、整備についてもですね、たくさん金がかかりますんで、計画的に積み立てていくということでございます。

●比嘉委員

ちなみに、中央残波線とか村道、いっぱい今作っていますよね。あれ相当お金かかっていると思うんだけど、あれも平行的にこれも進めるということなんですか。

●石嶺村長

そうですね。そういうことで、あれもこれもありますよね。ハード事業は道路からいろんなところ、農業整備からありますけど、学校施設の整備についてはちゃんと基金として積み立てていこうということです。

●比嘉委員

はい。わかりました。

●石嶺村長

他にございますか。はい。それでは、これで意見交換を終了したいと思います。それでは、協議事項1「平成29年度教育関連予算について」の意見交換はここまでといたします。

続きまして、協議事項2「教育委員会教育長の任命について」ですが、協議事項2及び協議事項3につきましては、人事案件となっておりますので、非公開としたいのですが、よろしいでしょうか。

(一同異議なしの声)

【協議事項2及び協議事項3につきましては、人事案件のため非公開】

●石嶺村長

はい。ありがとうございます。協議事項2、3も滞りなく終わりましたので、これで、第3回読谷村総合教育会議を終了したいと思います。

●比嘉委員

村長よろしいでしょうか。

●石嶺村長

はい。どうぞ。

●比嘉委員

その他でいいですか？先ほど、村長から、土曜日、日曜日で、ラグビーとかですね、スポーツコンベンションということで、村長が、新聞の言葉を借りると、トップセールスというんですか？そういうことでいろんな団体 coming しているんですけど、そういう方々を、もちろん選手も必要かもしれないけど監督とかコーチとかそういう方々を学校が活用できるようなシステムというのか、チームの関係者が表敬訪問にいらっしゃる時に、こういう要望が来たらOKして頂戴ねとか、まあそれはなさってるかもしれませんが、どうも学校の活用がちょっと弱いのかなあと、新聞なんか見ていると他の市町村なんかよく新聞に出てくるんだけど、校長を始め、やっぱり学校が主体になるべきかと思うんだけど、せっかくいっぱいチームが来るわけだから、そういう、システムといたらおかしいけど、まあ村長から一言、そういう感じの事をやればいいのかね。また校長達も、いろんなカリキュラムのしがらみあるかと思うんだけど、活用を促すような、ものもいいのかなあと、1月の後半から2月にかけて新聞を見ながら、「そういえば読谷チャーナトーガヤ」と思っていました。感想ですけど。

●石嶺村長

はい。この件に関してはですね、例えばサッカーのチームが、今、ヴィッセル神戸、サガン鳥栖という事で来ているんですけど、そのメンバーの前段のですね、グラウンド設営とかそういうのは、中学校、高等学校の、子ども達にやってもらっています。女子ソフトボールのグラウンド設営もですね、去年の12月の日本代表の女子ソフトボールチームが来たんですけど、その人たちのグラウンド設営も中学生で十分できるんですよ。そうしたらまた子ども達も、フェンス張りとかライン引きとか、そういう意味では、子ども達も、トップチームのキャンプに関わっているという自覚はあると思います。それとスポーツ教室等の件ですけど、これは、大体のところ、ラグビーでもサッカーでも必ずスポーツ教室、サッカー教室、ラグビークリニックということで、やってもらっています。これは直接学校がお手伝いするというのではなくて、各々の競技団体ですね。サッカーだったらサッカー協会。ラグビー協会とかがありまして、まあ、中日ドラゴンズもずっと野球教室をやっていただいたり、また、教育長の配慮で、野球選手が実際の学校給食の中に入って行って交流するとか、そういった事は、やっています、キャンプに来ている人たちは学校関係者、子ども達とのふれあいと言うんですか、これはわれわれも意識していますし、つねづね私言っているんですけど、これはもうスポーツに限らず、伝統・文化・芸術に関しても、プロというんですか、本物とのふれあいが一番の子ども達の刺激になると思っていて、まあそれはやっています。まあ、これからも、

比嘉委員からありますような事は、積極的にやっていきたいと思っています。

●松田教育長

読谷は数が多くて、新聞が取り上げないんですよ。あまりにも多くてですね。サッカーチーム、ラグビーもそうだし、野球もそうだし、それから大学野球も野球教室やりたいということで、全て関わっていて、結構うれしい悲鳴で、やっていますし、それから給食交流は、私の方から提案をして、休みの日に、商工の職員のみなさん達が送り迎え付きで、選手を各学校に配置して行って、これは大好評ですね。たくさん子ども達が、本物のプロ野球選手に触れているというのは。条件は付けてあります。必ずユニフォームで行って頂戴と。そうでないと野球選手なのかこの辺のお兄ちゃんなのかわからんからということで、ユニフォームを着けて、ドラフト1位が行くと、大体載るんですよ。中日ドラゴンズさんは、今年のドラフトに指名された、選手を中心に行ってもらっていますので、そういう意味では結構、いろいろと活発に交流したり、スポーツ教室をしたりして幅広く子ども達と触れ合っています。それから去年は、J1のサガン鳥栖が、わざわざサッカー少年の子ども達を福岡に招待して、そして、向こうでサガン鳥栖ジュニアチームと練習試合、交流試合をしたり、この選手の皆さん達のお家に民泊してもらって、翌日はサガン鳥栖の公式試合がありましたので、選手と一緒に入場する体験をやって、スポーツ選手の控え室も全部案内してもらったりということで、サガン鳥栖の社長さんは、子ども達に大変厚意でした。まあサッカー協会の皆さん達は、これを今度自前で何とか続けたいね、という話を反省会でやっていたけど、どうなったかな。まあ、そういう形で子ども達、かなり関わっていて、村長がさっきおっしゃっていたように、本物の選手、本物の体験をして、本物の教育をしたいという思いが、よく伝わっていると思っています。

●比嘉委員

ちょっと、認識不足ですいません。

●石嶺村長

パラリンピックのメンバーはですね。来週から、入るんですが、例の山本篤さんとか、走り幅跳びとか400mリレーの片足の義足のメンバーが来て、読谷のアスリートクラブと一緒に練習するんですけど、やっぱり片足無くても一生懸命やっているということで、私は片足が無いハンディを乗り越えて世界に挑戦する人たちです、といった逆に選手のこのパラリンピックのコーチの人からですね、「我々にとって障害というのは武器なんだ」とやっぱりそれぐらい彼らは強い人、障がい者というのはちょっとハンディのある人と思っていたら、パラリンピックに出る人たちは本当に強い人ですね。子ども達がその人たちと実際に、走らしたら中学生になると、本人達勝つんですよ中学生が、「おじ

さんは片足しかないのに」彼はそんな笑いながら言ってくれるものですから、本当にすごいですね。この経験は。

はい。え～それでは・・・。

●照屋委員

すいません。私も一言いいですか。

●石嶺村長

はい。どうぞ。

●照屋委員

予算ということでしたので、支援員配置事業のところで、学習支援とか特別支援、日本語の指導員とか、たくさんの方々が特に本村の場合はいらっしゃるなあということで、大変ありがたく思っております。これから、だいぶ子ども達も変わってきまして、家庭の状況も変わってきまして、いじめであるとか、不登校であるとか、それから子どもの貧困とか、どうしても学校だけでは対応できない。それから社会、大変難しくなってるところで、今本村の場合は子ども未来課の方々が、だいぶ学校に協力しているなあということを感じるんですね。夏休みの青少年センターの10日間のなんだっけな、そこでも福祉課の方々が子ども達を連れてきたりということで、大変、取組としていいなと思います。そこで次年度、将来的にですけれども、こういうふうに学校と福祉、それ以外のところを結びつけるSSWというものが非常に重要な役割をしてもっとそういう子ども達を、しっかりこう、大人まで教育できるというシステムが必要かなあと思いました、SSWの設置ですねこれをせめて各学校1人ぐらい、置けるようなものができたらなあと思います。これを1年間通してみても感謝とそれからこれからさらにという事をお願いしたいと思います。

●石嶺村長

はい。これはご意見として賜っておきたいと思います。

はい、もうすでにその他事項に入っていますけれども、ご意見ございましたら、意見交換ということで、よろしいですか。

はい。ありがとうございます。それでは、平成28年度第3回読谷村総合教育会議これで閉じたいと思います。大変お疲れ様でした。

●事務局（教育総務課長）

お疲れ様でした。ありがとうございます。最後に、新年度以降の総合教育会議についてでございますが、先ほど村長からご説明ありましたが、4月から読谷村も新教育委

員会制度のもとで新しい教育長が誕生いたします。総合教育会議の方も、教育委員のみなさまとの協議の場ということで、概ね年に2回程度、開催していきたいというふうに考えております。また、途中で何か学校で協議すべき事項等が発生した場合は、臨時で開催する場合がございますが、概ね2回程度の開催ということでご承知おきいただきたいと思っております。それでは、これで第3回目の総合教育会議は終了でございます。ありがとうございました。